

—橘桜だより—



JNMS/日医大医会誌編集委員会 編集主幹に就任して

吉田 寛

日本医科大学大学院医学研究科 消化器外科学分野 大学院教授

2020年4月より前任の編集主幹であった横田裕行現名誉教授からJournal of Nippon Medical School(以下JNMS)および日本医科大学医学会雑誌(以下、日医大医会誌)の編集主幹を引き継がせていただきました。何卒よろしくお願い申し上げます。

私は2012年よりJNMS/日医大医会誌編集委員会の委員として務めさせていただき、2018年からは編集副主幹として横田裕行前編集主幹を補佐してまいりました。2020年4月からは、副主幹は新しく日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野大学院教授にご就任された横堀将司教授に引き継ぐこととなりました。重ねてよろしくお願い申し上げます。

JNMSは2005年に当時の編集主幹の荒木勤名誉教授(元学長)が旧日本医科大学雑誌を英文専門誌として発展させてくださり、2013年度より日本の医科系大学誌では5番目、私立医科大学誌では初めてJournal Citation Reports(JCR)のインパクトファクター(IF)を取得いたしました。

その後、歴代の編集主幹の先生方は作業班を組織してIFの上昇にご尽力され、現在では0.615(2018年)まで上昇しております。また電子ジャーナル化の効果も加わり、現在では海外からの投稿、アクセスも急激に増加しております。私も歴代の編集主幹のご意思を受け継ぎ、JNMSのIF上昇への取り組みを行っていく所存であります。

そのためには、

①迅速、的確に対応して、投稿から掲載までの時間短縮を目指す。

②他施設の先生方へのJNMSの周知を図る。

③大学院教授または大学院教授ご推薦の先生方に、他の論文に引用されやすいタイトル・内容のReview執筆を依頼させていただく。

ことに取り組みたいと思います。

JNMS/日医大医会誌の質の向上のために、引き続き皆様方のご協力をお願いする次第でございます。編集委員だけでなく日本医科大学の教職員全員が、日本医科大学には素晴らしいofficial journalがあることを誇りに感じていただき、皆様のJNMS/日医大医会誌を育てていただければと思います。

何卒よろしくお願い申し上げます。

(受付：2020年4月13日)